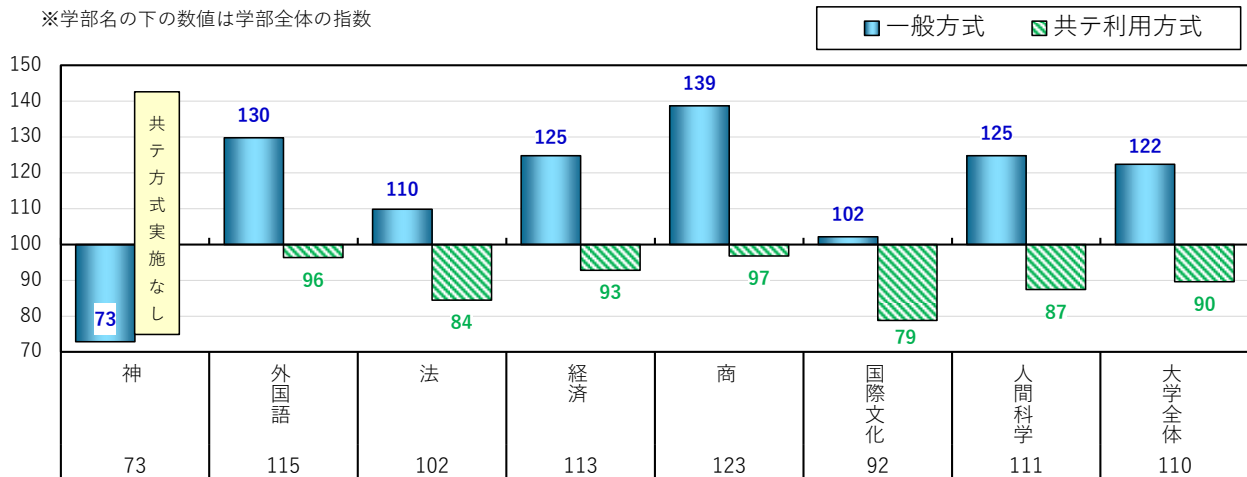


西南学院大：一般は<一般・F 日程>の併願可能で大幅増加、共テは4年連続減少 一般：+2,470人 共テ：-683人

※前年度の志願者数を100とする指数
 ※学部名の下の数値は学部全体の指数



主な入試変更点

試験会場：全学部<一般・F 日程>、<英語4技能型>…大阪を追加
 併願制度の変更：<一般・F 日程>…併願不可→同一試験日内で最大6学科まで併願可
 選抜方法：国際文化(国際文化)<一般・英語4技能型>…新規実施
 利用方法：出願要件、得点加算
 対象試験：ケンブリッジ英検 140点以上、英検 1,950点以上、GTEC 960点以上、IELTS 4.0以上、TEAP225点以上、TEAP CBT 420点以上、TOEFL iBT 42点以上、TOEIC LR+SW 790点以上
 入試科目：法<共テ>…国+歴公+数2+理・理基2 → 国+歴公+外+(数①or 数②or 理・理基2) → 2
 ※選択は高得点2科目採用

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、1,787人(110)の増加で2年連続増加。学部別では、7学部中5学科が増加。商(123)、外国語(115)は大幅増加、経済(113)、人間科学(111)は増加。一方で、神(73)は大幅減少、国際文化(92)は減少。方式別では、一般方式は全学部日程である<一般・F 日程>が併願不可から同一試験日内で最大6学科まで併願可能への変更の影響で、2,470人(122)の大幅増加、志願倍率は11.7倍→14.8倍にアップ。共通テスト利用方式は私立大専願者の共通テスト出題形式への敬遠もあって、683人(90)の減少で4年連続減少。

<一般方式>

- 外国語(130)**は、大幅増加で、志願者数は2020年度の改組時以来3年ぶりに1,000人を上回った。
- 法(110)**は、大幅増加。学科別では、(法律)(118)は大幅増加で2年連続増加、志願倍率は募集人員が30人(16%)減少したこともあり8.8倍→12.4倍にアップ。一方で、(国際関係系)(78)は大幅減少で3年連続減少。
- 経済(125)**は、系統への高い人気もあって、大幅増加で2年連続増加。学科別では、(国際経済)(131)は大幅増加、志願倍率も13.0倍→17.1倍にアップ。(経済)(122)は前年度増加に引続き大幅増加。
- 商(139)**は、4年連続減少の反動で大幅増加、志願者数は5年ぶりに3,000人を上回った。学科別では、(経営)(152)は3年連続減少の反動で50%以上の大幅増加、志願者数は1,500人を上回った。(商)(129)は大幅増加で2年連続増加。
- 国際文化(102)**は、微増だが3年連続増加。新規実施の<一般・英語4技能型>を除くと(91)の減少。その<一般・英語4技能型>は募集人員5人に対して志願者数138人、志願倍率27.6倍で、学部全体の志願倍率13.5倍を上回った。
- 人間科学(125)**は、2年連続減少の反動もあって、大幅増加。学科別では、3学科全てで増加。(児童教育)(139)は大幅増加で2年連続増加、(心理)(134)は2年連続大幅減少の反動で大幅増加。(社会福祉)(104)は2年連続やや増加。

<共通テスト利用方式>

- 外国語(96)**は、やや減少で2020年度の改組後は3年連続減少。方式別では、<共テ・前期>(81)は大幅減少で3年連続減少。<共テ・併用型>(107)は2年連続減少の反動は小さくやや増加。<共テ・後期>(70)は大幅減少。
- 法(84)**は、大幅減少で4年連続減少。学科別では、(国際関係系)(54)は大幅減少で志願者数は150人を下回った。(法律)(95)はやや減少で4年連続減少。
- 経済(93)**は、やや減少。学科別では、(国際経済)(82)は前年度増加の反動で大幅減少、志願者数は400人を下回った。(経済)(99)は微減だが4年連続減少。
- 商(97)**は、やや減少で4年連続減少。学科別では、(経営)(105)は3年連続減少の反動は小さくやや増加。(商)(90)は減少で、志願者数は700人を下回った。
- 国際文化(79)**は、前年度増加の反動に加えて、募集人員が9人(28%)減少したことで大幅減少。方式別では、3方式全てが大幅減少。<共テ・前期>(81)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、<共テ・併用型>(79)は2年連続増加の反動で大幅減少、<共テ・後期>(65)は2年連続大幅減少。
- 人間科学(87)**は、2年ぶりに減少。学科別では、(児童教育)(108)は増加で2年連続増加。一方で、(社会福祉)(72)は大幅減少、(心理)(89)は減少。